

としよしつだより

平成28年11月10日

六小図書室

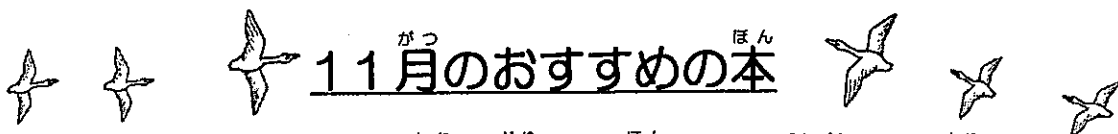


時間を忘れて、読書に夢中！



冷たい北風が吹くころ、ふっと暖かい日になることを小春日和といいます。そんな日に、学校の図書室で背中に日差しをうけてすわって本を読んでみてください。本を読むのが気持ちよく感じられ、心が落ち着きます。集中しやすいこの時期にたくさんの本を読んで、お気に入りの一さつを見つけ、みんなにもおしえてあげましょう。

11月7日（月）と11月8日（火）に読書週間の行事で、よみうさぎさんと図書委員の大型絵本や紙しばいの読みきかせがありました。また、手作りのコマのおみやげもたいへん好評でした。たくさんの人が読みきかせにきてくれて、とても楽しいひとときを過ごすことができました。



★渡り鳥がやってきた！～「渡り鳥」の本（分類番号：48鳥）

北風によってツグミやオオハクチョウなどの鳥が飛んできます。この時期に日本に来る鳥は冬の渡り鳥で、巣作りをして子どもを育てる場所と、寒さを避けるための場所を年に1回往復するのです。館林でも多々良沼や城沼などにオオハクチョウがきます。本で調べて出かけてみましょう。

★落ち葉や木の実であそぼう！（分類番号：47植物,75工作）



色づいた葉っぱのじゅうたんをふみながら歩くのは気持ちが良いものです。秋になると葉から水分がにげていくので、それを防ぐために葉を落とすのだそうです。春までじっとお休みしているのですね。

落ち葉や木の実で工作にチャレンジ。図書室にも草花あそびの本があります。本を参考に、工作をしてみてください。

● 木の実の種類を調べるなら…

『葉実木のかたちで調べる樹木の名前大事典』近田 文弘 くもん出版

● 木の実で工作するなら…

『チャイルドブックこども百科 しぜんあそび図鑑』山内 昭道 チャイルド本社
2さつともかりることができます。本をかりて楽しんでみてください。

★スポーツの秋、食欲の秋にちなんで、スポーツの本、料理・食育の本

(第一図書室おすすめコーナーにならべてあります。)



体をたくさん動かすと、おなかやすいてたくさんごはんが食べられます。この秋はいろいろなスポーツに挑戦！朝ごはんもしっかり食べよう！
脳がはたらいて、勉強がどんどん頭に入りますよ。料理、食育の本で、勉強も運動もできるようになる料理を研究して、クラスの人気者になりましょう！



〈11月の作家〉寺村 輝夫

(1928年11月8日～2006年5月21日)



昭和時代の児童文学作家。東京生まれ。

戦後、早稲田大学専門部の政治経済科（いまの早稲田大学政治経済学部）に入
学し、早大童話会に所属して童話の世界に入ります。卒業後は出版社に勤務しな
がら創作活動が続け、1962（昭和37）年はじめて出版した『ぼくは王さま』
で第15回毎日出版文化賞を受賞。以来、ユーモアにあふれた幼年童話を多く手
がけました。おもな児童文学作品には、シリーズものの『ぼくは王さま』『ちい
さな王さま』や『どうぶつえんができた』『消えた二ページ』『わかったさん』
『こまったさん』などがあります。また絵本『たまごの本』、伝記『アフリカの
シュバイツアー』など、その作品群は、はばが広いです。

〈10月の図書の貸し出し数〉どれだけ本を読めたかな？

10月の図書の貸し出し数は、合計3,588さつです。

みなさん、たくさん本を読みましたね。おめでとう！

これからも本をたくさん読んでくださいね。



○今月の「きちんと本をかえす日をまもれたクラス」は、3年2組です。

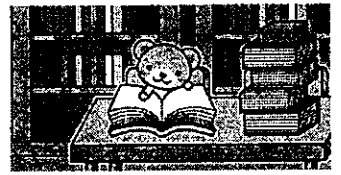
みなさんもきちんと本を期限内に返しましょう！

本をかりた時にもらえる「かえす日のしおり」の日にちを必ず見てください。

かえす日をわすれないように、かりた本にはさんでおきましょう。

読書の秋におすすめの本

★児童文学で有名なイギリスの作家二人を紹介します。



○ロアルド・ダール (1916年～1990年) 生誕100年

イギリスの小説家。たくさんの作品が映像化されています。たとえば、『チョコレート工場の秘密』。出版50年をむかえます。今年はさらに『オ・ヤサシ巨人BFG』も映画化され公開中です。高学年むけの本が多いですが、ブラックユーモアあふれる短編集や楽しい童話を読みたい人にはおすすめです。

●図書室にあるロアルド・ダールのおすすめランキング10

- 〈1位〉『チョコレート工場の秘密』
- 〈2位〉『マチルダは小さな大天才』
- 〈3位〉『ガラスの大エレベーター』
- 〈4位〉『ぼくの作った魔法のくすり』
- 〈5位〉『魔女がいっぱい』
- 〈6位〉『おばけ桃が行く』
- 〈7位〉『こちらはゆかいな窓ふき会社』
- 〈8位〉『魔法のゆび』
- 〈9位〉『アッホ夫婦』
- 〈10位〉『オ・ヤサシ巨人BFG』 (2016年アメリカにて映画化原題「THE BFG」)



「進撃の巨人」に近い物語ですが、オ・ヤサシ巨人BFGは、良い人です。ソフィーという女の子と悪い人食い巨人を退治します。

○ビアトリクス・ポター (1866年～1943年) 生誕150年

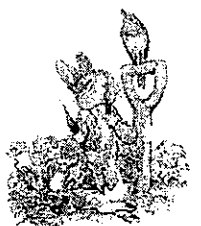
イギリスの絵本作家。「ピーターラビット」の生みの親。女性が活躍するのは、難しい時代に生まれましたが、いくつもの困難を乗り越えて絵を描き続け、湖水地方の美しい自然を守る活動をしたことも知られています。

日本のいくつかの美術館で、ポターの描いた絵本の原画展がおこなわれました。

●『ピーターラビットのおはなし』

このおはなしのきっかけは、1893年9月に作者ビアトリクス・ポターが5歳の少年ノエルにあてて書いた絵手紙でした。イギリスの田舎の農園を舞台に物語は進行します。

いたずら好きのうさぎピーターがマクレガーさんの庭に入りこんでレタスを食べていると、彼に見つかってしまいます。ピーターはどうなってしまったのでしょうか。つづきは、本を読んでくださいね。





図書室からのお知らせ

第28回読書感想画中央コンクール



こころに残ったその思いを絵にしよう

本を読んで感動した気持ちを1枚の絵に描いてみませんか？あなたは、どんな場面が好きでしたか？一番印象深かったことは？これだ！という本をさがしてみよう。六小の図書室にも第28回読書感想画指定図書をならべました。作品を描く参考にしてみてください。

第28回読書感想画中央コンクール指定図書

●書名・作者など	●出版社名
【小学校低学年の部】	
くじゃくのジャックのだいぼうけん 井上 よう子/作	文研出版
脱走ペンギンを追いかけて 山本 省三/作	佼成出版社
いっぽんの木のそばで G.ブライアン・カラス/作 いしづちひろ/訳	BL出版
文房具のやすみじかん 土橋 正/文	福音館書店
【小学校高学年の部】	
ガラスの壁のむこうがわ せいの あつこ	国土社
幽霊魚 福田 隆浩	講談社
クジラに救われた村 ニコラ・ティビス/文 もりうち すみこ/訳	さ・え・ら書房
空から宝物が降ってきた！ 伊藤 親臣	旬報社

第28回読書感想画中央コンクール/募集要項

【実施地域】38都道府県（山口県、九州地区8県を除く）

【応募区分】①小学生低学年の部（1・2・3学年）指定読書・自由読書

②小学生高学年の部（4・5・6学年）指定読書・自由読書

【用紙・画材】用紙は、画用紙・ケント紙・キャンバスボード・マニラ紙・ボール紙いずれでもよい。絵具は、クレヨン・パステル・水彩・油絵具など自由。版画・はり絵も可とする。

【寸法】感想画の寸法は、36cm×25cm以上、55cm×40cm以下の大きさとする。

【表彰】個人賞／文部科学大臣賞4名・優秀賞8名・優良賞16名・奨励賞、学校賞／凸版印刷株式会社賞・大和証券賞4名

【入賞発表】2017年2月24日東京において表彰式